

仏ヶ浦文化サイト モニタリングマニュアル

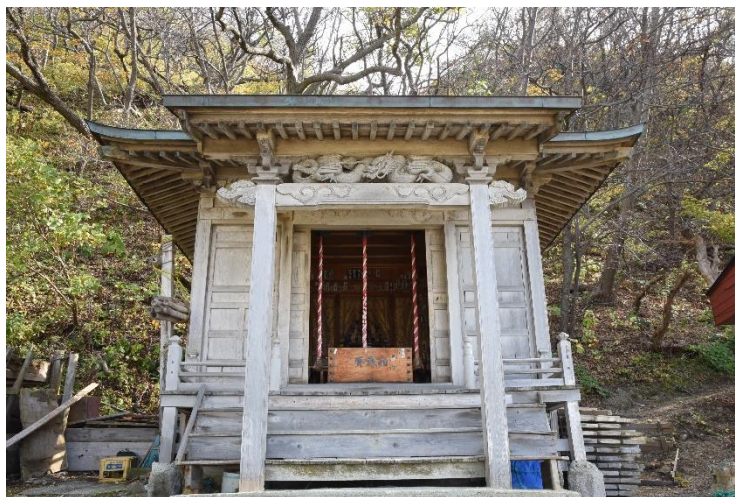
モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観測の写真を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ				
名称	仏ヶ浦	エリア区分	仏ヶ浦	
所在地	佐井村	トイレ	あり	
アクセス	★仏ヶ浦駐車場まで JR 下北駅から車で約90分(川内経由)			
駐車場	あり		看板	ジオ看板:あり(アルサス)
説明	<p>仏ヶ浦はもともと、仏(ブツ)の日本読み「ホトケ」と、アイヌ語で海辺・砂浜の意味である「ウタ」から、佛宇陀(ほとけうだ)と呼ばれており、後に仏ヶ浦と呼ばれるようになったと言われている。凝灰岩類が侵食を受けて作り出された岩石の造形が、如来や羅漢像、蓮華の華を想像させることから仏の浜と呼ばれ、仏ヶ浦信仰が発達したと考えられる。奇岩には、五百羅漢、屏風岩、如来の首、蓮華岩などの名前がつけられており、その多くは仏教に関連する。</p> <p>仏ヶ浦地蔵堂の中には2体の古い地蔵(石仏)が安置されている。今あるお堂は約50年前に建てられたもので、牛滝地区の住民によって長年管理されている。</p>			
	 <p>仏ヶ浦地蔵堂</p>		 <p>歌碑</p>	
想定される事象	お堂など建築物の破損やごみなどによる景観の悪化が想定される。			

2. 定点観測

サイト内で見られる特に重要な景観、保全すべきものを定点観測対象物とする。下記定点観測対象物を定点観測場所から撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

定点観測対象物 「仏ヶ浦地蔵堂」



定点観測の理由

仏ヶ浦地蔵堂の変化の過程を記録するため。

定点観測場所



仏ヶ浦地蔵堂の階段、上から5段目中央から対象物を撮影

3. その他確認事項

ごみや看板の破損などの異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

ジオ看板(アルサス)	ごみ
	

4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

